

物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金活用事業 実施状況及び効果検証(令和6年度実施計画事業のうち令和7年度への繰越以外分)

※繰越しにより令和6年度～7年度の2か年に渡り実施した事業を除く

No.	事業名	所管課	事業概要	事業始期	事業終期	事業費(円)		実施状況	効果
							うち交付金 充当額(円)		
1	定額減税補足給付金事業	財政局税制課	個人住民税・所得税の定額減税の恩恵を十分に受けられない者への支援を行うことで、住民の生活を維持する。	R6.4	R6.12	7,576,141,876	7,576,141,876	・定額減税補足給付金(調整給付金) 7,010,280,000円 ・役務費(郵送料、振込手数料) 45,293,088円 ・委託料(給付金事務業務委託料、点字・音声チャリ作成委託料、新聞広告料) 511,205,777円 ・会計年度任用職員人件費 9,363,011円	物価高が続く中で、個人住民税・所得税の定額減税の恩恵を十分に受けられない者への支援により、経済的負担の軽減を実現できた。
2	定額減税補足給付金事業(給付支援サービス)	財政局税制課	個人住民税・所得税の定額減税の恩恵を十分に受けられない者へ支援を行うため、迅速かつ効率的な給付が可能となるような、給付支援サービスを導入する。	R6.4	R6.12	18,172,000	14,300,000	給付支援サービス利用料 18,172,000円	公金受取口座との連携によるオンライン申請の実施により、定額減税補足給付金の迅速かつ効率的な給付が行えた。
3	低所得世帯への物価高対策緊急支援給付金【物価高騰対策給付金】	健康福祉局社会課	物価高が続く中で低所得世帯への支援を行うことで、低所得の方々の生活を維持する。	R6.1	R6.7	314,486,642	314,486,642	【R5.7万】 緊急支援給付金70,000円×3,208世帯 ・需用費(事務用品等) 440,542円 ・役務費(郵送料等) 2,621,349円 ・委託料(事務センター運営業務委託等) 76,378,287円 ・使用料及び賃借料(ビル賃借料等) 2,724,447円 ・会計年度任用職員人件費 2,698,734円 ・その他 5,063,283円	物価高騰の影響が大きい低所得世帯に対して、経済的負担の軽減を実現できた。
4	低所得世帯への物価高対策緊急支援給付金【物価高騰対策給付金】	健康福祉局社会課	物価高が続く中で低所得世帯への支援を行うことで、低所得の方々の生活を維持する。	R6.2	R6.12	1,692,007,689	1,692,007,689	【R6.10万】 緊急支援給付金100,000円×13,153世帯 【R5.10万+R6.10万】 ・需用費(事務用品等) 1,886,273円 ・役務費(郵送料等) 14,801,699円 ・委託料(事務センター運営業務委託等) 336,430,796円 ・使用料及び賃借料(ビル賃借料等) 13,622,235円 ・会計年度任用職員人件費 9,966,686円	物価高騰の影響が大きい低所得世帯に対して、経済的負担の軽減を実現できた。
5	給食費等負担軽減事業	こども若者局運営支援課	原油価格・物価高騰等の影響を受ける子育て世帯の負担軽減を図るため、公立保育所において給食に係る経費の物価上昇分が保護者に転嫁されることがないよう、物価上昇に相当する額を増額するもの。	R6.4	R7.3	39,123,323	31,001,900	・保育所給食材料費:39,123,323	仙台市公立保育所において、原油価格・物価高騰等の影響を受ける子育て世帯の給食費にかかる負担を増やすことなく、必要な栄養量を満たす給食を提供することができた。
6	海浜エリアにおけるループバス(せんだい海手線南ルート)臨時運行事業	文化観光局観光戦略課	エネルギー高騰や物価高の影響を受ける商業・観光施設等の利用客及び観光客数の増加を図るため、海浜エリアの回遊性の向上に資する南側ループバスの臨時運行により、誘客及び回遊を促進し、当該商業・観光施設等への消費額を増加させる。	R6.4	R6.10	29,051,808	26,146,627	・バス運行費/28,985,000円 ・バス停設置費/528,000円 ・ラッピング費/880,000円 ・管理費/605,000円 ・運賃収入/▲1,946,192円	期間内利用者数(南北ルートの合計):11,787人の来訪・エリア内での周遊を促し、エネルギー高騰や物価高の影響を受ける商業・観光施設等への送客を通じた経済効果を創出した。

No.	事業名	所管課	事業概要	事業始期	事業終期	事業費(円)		実施状況	効果
							うち交付金 充当額(円)		
7	海浜エリアにおけるループバス(せんだい海手線北ルート)臨時運行事業	宮城野区海浜エリア活性化企画室	エネルギー高騰や物価高の影響を受ける商業・観光施設等の利用客及び観光客数の増加を図るため、海浜エリアの回遊性の向上に資する北側ループバスの臨時運行により、誘客及び回遊を促進し、当該商業・観光施設等への消費額を増加させる。	R6.5	R6.10	13,480,536	12,132,482	<ul style="list-style-type: none"> バス運行費/13,266,000円 バス停設置費/528,000円 ラッピング費/528,000円 管理費/518,320円 運賃収入/▲1,359,784円 	ループバスの臨時運行により、商業・観光施設への誘客が促進された。 期間内利用者数(南北ルートの合計):11,787人
8	海浜エリア周遊促進臨時キャンペーン	若林区海浜エリア活性化企画室	エネルギー高騰や物価高の影響を受ける商業・観光施設等の利用客及び観光客数の増加を図るため、デジタルスタンプラリーの実施により、誘客及び回遊を促進し、当該商業・観光施設等への消費額を増加させる。	R6.7	R7.1	13,150,000	11,835,000	<p>【期間】令和6年9月5日(木)～令和6年11月30日(土)</p> <p>【費用】13,150千円(委託料)</p> <p>【内容】海浜エリア内の回遊促進を目的としたスタンプラリーを実施。目的地+αの場所に足を運ばせるスキームを構築し、地域経済の活性化及び地域資源の魅力発信を推進。</p>	誘客及び回遊を促進し、エネルギー高騰や物価高の影響を受ける商業・観光施設等の消費額の増加に寄与した。 【実績】 (1)エントリーユーザー 1,269人 (2)総スタンプ数 3,325個 (3)賞品応募者数 327件
9	物価高騰による学校給食への負担軽減	教育局健康教育課	食材料費等が高騰する中、保護者負担を増やすことなく、栄養バランスや量を保った学校給食を提供するため、賄材料費を増額するもの。	R6.4	R7.3	619,520,651	344,275,541	<p>学校給食賄材料費</p> <p>【経費内訳】</p> <ul style="list-style-type: none"> 単独調理校 261,229,734円 給食センター対象校 358,290,917円 	物価の高騰が給食食材にも影響する中、保護者負担を増やすことなく、必要な栄養量を満たすバランスの取れた給食の提供に寄与した。
10	市立学校における光熱費(高騰相当分)	教育局学事課	冷暖房を使用するにあたり、光熱費(電気料金)の物価高騰分における使用料金について、交付金を充当するもの。	R6.4	R7.3	275,370,271	247,833,243	<p>物価高騰前の年と令和6年度の差によって物価高騰分を求めた。</p> <p>【事業費の内訳】電気料金</p> <p>①令和3年度:973,808,571円(業務用電力のみ)</p> <p>②令和6年度:1,249,178,842円</p> <p>高騰分:275,370,271円(②-①)</p>	物価高騰分における使用料金に交付金を充当することにより、学校の学習環境を維持できた。